

指定管理者制度導入施設 モニタリングチェックシート

(平成26年度 上半期(4月～9月) の管理運営状況)
年間(4月～3月)

施設名	リバーサイドパークーの谷	指定管理者	あきる野市観光協会
指定期間	平成26年4月1日から 平成29年3月31日まで	担当課	観光商工課

1 業務の遂行状況及び収支の状況

項目	分類	年間計画 (A)	実績 (B) (モニタリング時)	対計画比率 (B/A×100)	
業務の 遂行状況	開館日数 (日)	316	307	97.2%	
	延べ利用者数 (人)	5,500	4,322	78.6%	
収支状況	収入	指定管理料 (円)	—	—	
		利用料金 (円)	3,000,000	2,720,500	90.7%
		自主事業収入 (円)	—	—	—
		その他の収入 (円)	1,000,000	836,000	83.6%
	収入計 (円)		4,000,000	3,556,500	88.9%
	支出	人件費 (円)	1,725,000	2,568,090	148.9%
		維持管理経費 (円)	887,500	405,959	45.7%
		自主事業関係経費 (円)	—	—	—
		その他の支出 (円)	925,000	914,865	98.9%
	支出計 (円)		3,537,500	3,888,914	109.9%
収支 (収入－支出) (円)		462,500	△332,414	—	

指定管理者の自己評価 (改善点、その他特記事項)

【開館日数・利用者数について】 開園日数 307 日 (うち入客日数 99 日)、入客数 4,322 人 (前年度比 94.3%)。土・日・祭日の入客数減を平日の入客数で補えなかった。	【事業の実施状況について】 計画に基づき事業を実施した。	【収支状況について】 昨年度からの収入減に対し、節水、節電等諸経費の節約により、収支の向上に努めた。
--	--	--

所管課の評価 (指摘事項)

【開館日数・利用者数について】 夏季の台風及び悪天候の影響もあり、昨年度に比べ、入客数が減少した。開園日数に対し、入客数の割合が低下しているの、安定した入客数を確保する必要がある。	【事業の実施状況について】 計画に基づき事業を実施した。	【収支状況について】 開館日数に対する入客数を検討し、諸経費の節約により、収支を向上させる必要がある。また、年間計画を見直す必要がある。
--	--	--

2 チェック項目

評価項目・評価事項 (数値目標)	確認資料等	指定管理者の 自己評価	所管課の評価	
受付等の業務	施設の利用許可等を条例に従い適切に行っている	日報	適正・要改善	適正・要改善
	使用料、利用料金の徴収、減免を適切に行っている	日報	適正・要改善	適正・要改善
施設・設備の 維持管理	消防設備、機械設備の保守点検や施設の修繕等を適切に行っている	各種点検結果報告書	適正・要改善	適正・要改善
	衛生環境を維持するため清掃業務等を適切に行っている	実地	適正・要改善	適正・要改善
	備品等を適切に保管・管理している	実地	適正・要改善	適正・要改善
	業務の全部又は主たる業務を第三者に請け負っていない	実地	適正・要改善	適正・要改善

安全性への配慮	安全管理、衛生管理、危機管理に関するマニュアルが整備され、また、職員等に対する指導訓練が適切であり、市への通報体制が整っている	危機管理マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	避難経路の確保、事故防止策や防犯等の警備業務など利用者への安全対策が講じられている	実地	適正・要改善	適正・要改善
	損害保険等の必要な保険に加入している	保険証書	適正・要改善	適正・要改善
透明性・公平性	ホームページ等により施設の情報の公開に努めている	ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
	情報公開に対する体制を整備している	情報公開マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	利用者の平等な利用が確保されている	日報	適正・要改善	適正・要改善
効果的・効率的な運営	苦情や利用者アンケートによる意見、要望等を管理運営に反映している	利用者アンケート	適正・要改善	適正・要改善
	施設の利用者拡大の取組を行っている	日報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	経費削減のための取組を行っている	日報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	広報紙、チラシ、ホームページなどにより積極的に事業等を周知している	チラシ、ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
人員配置・人材育成等	事業計画書どおりの人員を配置している	人員配置計画、実地	適正・要改善	適正・要改善
	事業計画書どおりの職員の指導育成や研修を行っている	1回/年 研修マニュアル	実施回数1回 適正・要改善	適正・要改善
	労働法令の遵守や労働条件への適切な配慮がなされている	実地	適正・要改善	適正・要改善
個人情報の保護	個人情報保護のための取組を行っている	個人情報保護マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	文書管理を適切に行っている	保存文書	適正・要改善	適正・要改善
環境への配慮	省エネルギーの取組、環境負荷低減、ゴミの減量など、環境への配慮に取り組んでいる	実地	適正・要改善	適正・要改善

※評価基準

「適正」：その項目について、協定書、事業計画書等に沿った適正な指定管理業務を行っている。

「要改善」：その項目について、協定書、事業計画書等に照らし合わせて、目標達成されておらず、改善の余地がある。

3 上記1、2の評価に関する所見

<p>指定管理者による所見（改善点、その他特記事項）</p> <p>上半期の状況においては、土日・祭日の悪天候の影響を受けて入客数が前年度比93.1%と減少したが、下半期の入客数は前年度比109.8%と増加した。しかし、上半期の減少分を取り戻すことはできなかった。その中で、小・中学校の課外活動や高校生、大学生のサークル活動の利用が目立ったので、今後は職場やサークルなど各種団体のイベント等の開催場所として提案を行い、リピーターを増やして入客数を増加させていきたい。</p> <p>さらに、事故防止や安全対策のための園内整備等の費用増大を踏まえ、諸経費の節減に努める。</p>
<p>市による所見（指摘事項など）</p> <p>開園日数に対し、入客数の割合が低く、バーベキュー場までの経路が複雑であることや最寄りの駅から遠く、アクセスが不便であるなど地理的条件の悪さが入客数の伸び悩みの一因と考えられる。</p> <p>来場者の要望に沿ったサービスを提供して満足度を向上させることにより、リピーターの増加とリピーターからの口コミも含めた広告を活用して新規来場者を取得するよう指導した。また、学校の課外活動やサークル活動など団体客の利用が目立っていることから、今後もグループのイベント開催場所としての提案を行うなど特色のある運営を進めて立地条件の不利を補うことが求められる。</p>